

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																											
国際マルチビジネス専門学校	昭和51年3月31日	野口 和江	〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央四丁目8番32号 (電話) 022-222-2328																											
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																											
学校法人東杜学園	昭和38年7月15日	野口 和江	〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央四丁目8番32号 (電話) 022-222-2328																											
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																									
商業実務	商業実務専門課程	ブライダルビジネス学科 ブライダル専攻		平成16年文部科学省 告示第23号	-																									
学科の目的	婚礼の形態は多様化且つ個性化しており、時代やお客様のニーズに即した提案をすることが求められる。人生における大切なイベントの一つでもある結婚式の担い手となるべく、専門知識の習得はもちろんのこと、お客様に寄り添い・支えることができる人材の育成を目的とする。また、さらなる能力の育成・向上を図り、職業人として貢献し続けることが出来る様、より実践的かつ専門的な授業を展開する。																													
認定年月日	平成28年2月19日																													
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技																								
2	2081.8	866.6	344.4	870.8	0	0																								
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																									
70人の内数	9人	0人	3人	22人	25人																									
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 テスト結果・出席状況・授業態度等の総合判断																									
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:8月8日～8月16日 ■冬季:12月22日～1月11日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件		認定単位数以上を取得し、総時間数の80%以上履修																									
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 入学前オリエンテーションの実施、資格取得指導サポート、担任・キャリアカウンセラーによる面談/相談、各種経済的支援制度、等		課外活動		■課外活動の種類 各種ボランティア ■サークル活動: 無																									
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) アールベルアンジェ仙台、㈱ニドム、ニュートンサンザグループ、グラッドホクウ、ベルマリエキ登勢、ベルヴィ郡山館 ■就職指導内容 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツの設置、等 ■卒業者数: 6人 ■就職希望者数: 6人 ■就職者数: 6人 ■就職率: 100% ■卒業者に占める就職者の割合: 100% ■その他: (令和元年度卒業者に関する令和2年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3		<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3級ブライダルコーディネーター技能検定</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>WBJ「認定ウェディングコーディネーター」</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>WBJ「認定ドレスコーディネーター」</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>フォーマルスベンヤリスト検定(準2級)</td> <td>③</td> <td>6人</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>ホテルビジネス実務検定(B2級)</td> <td>③</td> <td>4人</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)</p>		資格・検定名	種	受験者数	合格者数	3級ブライダルコーディネーター技能検定	③	6人	6人	WBJ「認定ウェディングコーディネーター」	③	6人	4人	WBJ「認定ドレスコーディネーター」	③	6人	3人	フォーマルスベンヤリスト検定(準2級)	③	6人	6人	ホテルビジネス実務検定(B2級)	③	4人	4人
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																											
3級ブライダルコーディネーター技能検定	③	6人	6人																											
WBJ「認定ウェディングコーディネーター」	③	6人	4人																											
WBJ「認定ドレスコーディネーター」	③	6人	3人																											
フォーマルスベンヤリスト検定(準2級)	③	6人	6人																											
ホテルビジネス実務検定(B2級)	③	4人	4人																											
中途退学の現状	■中途退学者: 0名 平成31年4月1日時点において、在学者13名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者13名(令和2年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 ■中退防止・中退者支援のための取組 早期面談、保護者連絡・面談、学費分割相談、キャリアカウンセラーによるカウンセリング、休学の実施、等		■中退率: 0%																											
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: (有)無 野口一郎奨学金制度、2年次特待生制度、東日本大震災における被災学生支援制度、等 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象(非給付対象)																													
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: (有)無																													
当該学科のホームページURL	https://www.mbc.ac.jp/bridal/																													

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他定期的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等と組織的な連携体制を確保し、職業教育を通じて業界に必要とされる職業人育成を目指し学科の教育課程を作成する。
新しく身につけるべき知識やスキルを実務に携わる企業の方の意見を科目設定だけでなく、可能な限り既設授業の單元にも取り込みを行う。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

編成委員は学校法人東杜学園教職員と企業関係者等の外部委員から構成され、相互意見を十分に活かし、より良い教育課程の編成を協力して行うものと位置付けている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
高木 友子	公益財団法人 日本ケアフィット共育機構	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	①
大久保 毅彦	株式会社JTB	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	③
齋藤 康紀	仙台ターミナルビル株式会社 ホテルメトロポリタン仙台	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	③
小笠原 均	有限会社花嫁の千登勢 ベルマリエ千登勢	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	③
本村 陽	株式会社日比谷花壇	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	③
小山 大輔	株式会社留学ジャーナル	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	③
野口 和江	国際マルチビジネス専門学校 校長	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	
熊谷 文志	国際マルチビジネス専門学校 事務局	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	
吾妻 祐子	国際マルチビジネス専門学校 事務局	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	
伊五澤 和男	国際マルチビジネス専門学校 事務局	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	
三橋 英一	国際マルチビジネス専門学校 事務局	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	
島村 香奈子	国際マルチビジネス専門学校 事務局	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、10月)

(開催日時(実績))

第1回 令和1年9月3日 14:20～15:10

第2回 令和1年9月20日 13:00～14:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- ・保護者世代への接し方等を学ぶ「社会人マナー」を引き続き全学科全専攻へ導入
- ・外部コンテストへの参加

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

業界において必要な知識や技術を養うことはもちろんのこと、ゲストの要求に応えられるよう、演習形式で授業を行う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

企業より講師の派遣を行い、業界ニーズを反映した授業を行った上で評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
特別講座 (ブライダルフラワー アレンジメント)	ブーケやブートニア、卓上装花などブライダルシーンを彩る装花のコーディネートを中心に習得する。	株式会社マルイ商事
特別講座 (ブライダルフラワー アレンジメント)	ブーケやブートニア、卓上装花などブライダルシーンを彩る装花のコーディネートを中心に習得する。	株式会社日比谷花壇
特別講座 (メイク)	2019秋冬ファッションメイクアップのトレンドの実践と解説を行い、その技術を習得する。	株式会社UTOWA

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

研修規程を基に、卒業後就業を目標とする業界が求めるスキルや最新の動向等の知識を得て学生の指導へ活かしていくことを目指す。また、研修を受講することで実践的な技術や技能の向上に努めている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「インドネシア・バリ島研修旅行」(連携企業等: グランドミラージュリゾート&タラソバリ)
期間: 令和1年10月27日(日)～11月1日(金) 対象: 教員2名
内容: インドネシア・バリ島の観光資源・著名ホテル等を視察

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「プランナー1dayセミナー」(連携企業等: 株式会社ブライダル産業新聞社)
期間: 令和1年6月11日(火) 対象: 教員1名
内容: 「心の奥の思いを汲み取る打ち合分け術」等のセミナーを受講

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「SONPOリスクマネジメント」(連携企業等: 外務省教育機関向け海外安全対策セミナー)
期間: 令和3年3月上旬 対象: 教員1名
内容: 海外研修・留学の際の学校側の危機管理について事例を通して研修予定

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「H検直前対策セミナー」(連携企業等: 一般社団法人日本ホテル教育センター)
期間: 令和2年11月上旬 対象: 教員2名
内容: ホテル実務検定ベーシックレベル受験用対策セミナーを受講予定

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価の基本は自己評価である。学校自らが行った自己評価が学校に関係する人々から見ても理解頂ける様、評価の客観性を高めたい。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目的・人材育成等
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11) 国際交流	留学生の募集と受け入れ

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

今年度も委員会から忌憚のない意見を頂戴した。
 ・情報システム化等による業務の効率化を図る点について、情報管理のシステム化を進めると共に、蓄積された情報分析のシステム化のさらなる強化の必要性についてご意見を頂戴した。
 ・様々な学生のニーズに対応すべく新設開講した国際ホテル学科夜間部についての評価を頂戴した。
 ・卒業生に対する情報発信制度等の構築や、卒業生採用企業へのアンケート等での状況確認の実施等のご意見も頂戴し、卒業生の社会的な活躍及び評価の把握や支援体制については、今後、より積極的に取り組むべき点と認識した。
 ・以前より議題として挙がっている『人間力の向上』については、認定5学科全てにおいて、立案から実施までの工程を学生が担当する実習制度を導入している。社会人として必要とされる「課題発見能力」及び「課題解決能力」の育成を主眼とするのみならず、課題遂行上不可欠となる「コミュニケーション能力」の向上など、「社会性」を学修する場ともなっている。
 ・「留学生の学修意欲の向上」や「留学生の募集」については、今年度より対応教員を増員し細やかな在籍管理を徹底しているが、モチベーションアップに向けた評価の可視化についてはより検討するべき課題として挙げられた。徹底した指導の成果として昨年度就職内定率は100%という結果を残したことについては一定の評価を得た。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
大久保 毅彦	株式会社JTB	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
齋藤 康紀	仙台ターミナルビル株式会社 ホテルメトロポリタン仙台	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
小笠原 均	有限会社花嫁の千登勢 ベルマリエ千登勢	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
本村 陽	株式会社日比谷花壇	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
小山 大輔	株式会社留学ジャーナル	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.mbc.ac.jp/publication/>

公表日時: 令和2年10月2日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校教育法第133条、第134条第2項において準用する第42条及び同法施行規則第189条、第190条において準用する66、68条により、学校の自己評価の実施および公表が義務付けられた。本校では平成27年度より学校関係者評価編成委員会を立ち上げ、また自己評価を基本とし、学校関係者評価委員会により、外部委員を通じてより社会に貢献できる、また教育水準の向上に努める。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	教育理念・目標
(2) 各学科等の教育	学校運営
(3) 教職員	学校運営
(4) キャリア教育・実践的職業教育	学修成果
(5) 様々な教育活動・教育環境	教育活動・教育環境
(6) 学生の生活支援	学生支援
(7) 学生納付金・修学支援	学生の受け入れ募集
(8) 学校の財務	財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価
(10) 国際連携の状況	留学生の受け入れ募集
(11) その他	社会貢献・地域貢献・法令の順守等

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.mbc.ac.jp>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ブライダルビジネス学科ブライダル専攻)																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ブライダル概論	婚礼の流れ、形式、挙式、披露宴などについて総合的に学ぶと共に、ブライダルサービス全般について習得する。	1通	95.2	16	○	△		○		○		
2	○			パーソナルカラー	色彩の基礎知識を踏まえ色の持つ心理的作用を学び、お客様に合ったコーディネート習得する。	1,2通	95.2	16	○	△		○				○
3	○			フォーマルスペシャリスト検定対策	新郎・新婦を含めたフォーマルの正しい知識と、一般的なルールやマナーを基礎から習得する。	1通	47.6	8	○			○				○
4	○			認定ドレスコーディネーター検定対策	ウェディングスビューティフルジャパン主催の検定試験対策を実施する。	2通	47.6	8	△	○		○				○
5	○			メイク	基礎技術を中心に実習を重ね、詳しく学ぶ。	1,2通	190.4	32			○	○				○
6	○			ブライダルコーディネート技能検定対策	公益財団法人日本ブライダル文化振興協会(BIA)主催の検定試験対策を実施する。	2通	71.4	16				○				○
7	○			ブライダルプロデュース(初級)	スタンダードな披露宴の流れを習得する。	1前	23.8	4				○			○	
8	○			ブライダルプロデュース(中級)	オリジナルの演出を盛り込んだ挙式披露宴をプロデュースする。	1後	23.8	4				○			○	
9	○			ブライダルプロデュース(上級)	結婚式プロデュースの集大成として、ブライダルフェスタの企画・立案を実施する。	2通	95.2	16				○			○	
10	○			ホテルビジネス実務検定対策	ホテルビジネス実務検定ベーシック2級を1年次、1級を2年次に取得するための対策講座。	2通	47.6	8	○	△		○			○	
11	○			ホテル総論	ホテルの歴史・経営形態など全般に関する知識を学び、ホテルにおける婚礼の役割を理解する。	1通	47.6	8	○			○				○
12	○			ブライダルサービス	式当日に新郎新婦のお世話をするキャプテン・アシスタント業務とアテンド業務を習得する。	1通	47.6	8			○	○	○		○	

13	○	着付	基本的な着付や帯結びからアレンジ方法などを習得する。	1通	47.6	8				○	○							○
14	○	ラッピング	贈答品の包装に関する知識と技術を基本から習得する。	1通	95.2	16				○	○							○
15	○	料飲サービス実習	料理・飲物のサービス方法を実習を通して習得する。	1,2通通	95.2	16				○	○							○
16	○	ブライダルジュエリー	婚約指輪や結婚指輪など、意味合い、種類、使用する宝石の特性や取扱方法を習得する。	1通	47.6	8	○				○							○
17	○	ブライダルフラワーアレンジメント	ブーケやブートニア、卓上装花などブライダルシーンを彩る装花のコーディネートを中心に習得する。	2通	47.6	8				○	○							○
18	○	パソコン実習	パソコンの使い方、word・excelの使い方等、文書作成や操作方法から応用まで実践で習得する。	1,2通通	95.2	16	△			○	○							○
19	○	就職ガイド	履歴書の書き方、自己PR、筆記試験対策、会社訪問の仕方、面接など就職活動全般について習得する。	1,2通通	95.2	16	○	△			○							○
20	○	総合英語	聞く、話すを中心とした会話を習得する。	1,2通通	95.2	16	○				○							○
21	○	社会人マナー	社会人としての立ち居振る舞いについて実践形式で習得する。	1通	47.6	8	○	△			○							○
22	○	ボールペン習字	心のこもった美しい文字を書ける様指導する。	1通	47.6	8	△			○	○							○
23	○	秘書技能検定対策	秘書技能検定対策として、職場における言葉遣い、敬語、電話対応、ビジネス文書作成などの実務を習得する。	1,2通通	95.2	16	○	△			○							○
24	○	就職筆記対策	就職試験における、適性診断や一般常識問題などでの対策を実施する。	2前	23.8	4	○				○							○
25	○	ホスピタリティ・コミュニケーション	心理学的コミュニケーション論を学び、接客業に不可欠なホスピタリティ精神の向上を目指す。	1,2後前	47.6	8	○	△			○							○
26	○	オーラルイングリッシュ	ネイティブスピーカーによる少人数制の英会話で、レベルに合わせた授業を実施する。	1,2通通	95.2	16	○	△			○							○
27	○	学科別海外研修旅行	海外チャペルを視察し、現地のコーディネーターから海外ウェディングの傾向や挙式までの流れについて学ぶ。	1後	105	5	△			○		○	○					

28	○	スポーツ大会	学生間のコミュニケーションをはかり、クラスの団結力を高めることを目的とする。	1 前	16.8	2			○	○	○			
29	○	アウトドア研修	校外にて東北の良さを再確認できるイベント・研修を実施する。	1 後	16.8	2			○	○	○			
30	○	ボランティア清掃	学校、仙台駅周辺の清掃をする事によりボランティア精神を養い、モラルの在り方を再確認する。	1 後	2.8	2			○	○	○			
31	○	就職ガイダンス	各業界の人事担当者や本校OG・OBを迎え、就職活動の貴重な体験談、アドバイスを頂く。	1 前	9.8	2	○			○	○			
32	○	学科別研修 (ブライダルフェスタ)	挙式・披露宴の企画、進行、ヘアメイク、装花、照明、音響、衣裳まで全て学生が担当するイベント。	2 後	35	4			○	○	○			
33	○	特別講座(メイク特別講座)	外部講師を招き、メイク技術を向上させる為の講座を実施する。	1 前	5.6	2			○	○			○	○
34	○	特別講座(トータルビューティー特別講座)	花嫁の和装のお支度を見学し、初歩的な写真撮影の手法について理解する。	1 前	11.2	2	△	○		○			○	
35	○	特別講座(ブライダルフラワーアレンジメント)	ブーケやブートニア、卓上装花などブライダルシーンを彩る装花のコーディネートを中心に習得する。	1 通	22.4	3			○	○			○	○
合計						35	科目		2081.8単位時間(332単位)					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：卒業認定単位数を修得し、1年毎に総時間数の80%を履修		1学年の学期区分	2期
単位取得：学期毎に出席率80%以上且つ各期末試験で合格(60点以上)と認定された場合		1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
国際マルチビジネス専門学校	昭和51年3月31日	野口 和江	〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央四丁目8番32号 (電話) 022-222-2328																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人東杜学園	昭和38年7月15日	野口 和江	〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央四丁目8番32号 (電話) 022-222-2328																								
分野	認定課程名	認定学科名		専門士	高度専門士																						
商業実務	商業実務専門課程	ブライダルビジネス学科 ブライダルスタイリスト専攻		平成16年文部科学省告示第23号	-																						
学科の目的	多様化する婚礼の形態により、接客サービスの質がより一層求められる昨今、ブライダル美容の専門知識・技術だけではなく、お客様のご要望を叶えるためのコミュニケーション力やホスピタリティマインドを持った人材の育成を目的とする。また、さらなる能力の育成・向上を図り、職業人として貢献し続けることが出来る様、より実践的かつ専門的な授業を展開する。																										
認定年月日	平成28年2月19日																										
修業年限	昼夜	講義		演習	実習	実験																					
	2	2249.8	866.6	344.4	1038.8	0																					
生徒総定員	生員実員	留学生数(生員実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
	70人の内数	8人	0人	3人	22人	25人																					
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価		■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 テスト結果・出席状況・授業態度等の総合判断																						
長期休み	■学年始:4月1日 ■夏季:8月8日～8月16日 ■冬季:12月22日～1月11日 ■学年末:3月31日		卒業・進級条件		認定単位数以上を取得し、総時間数の80%以上履修																						
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 入学前オリエンテーションの実施、資格取得指導サポート、担任・キャリアカウンセラーによる面談/相談、各種経済的支援制度、等		課外活動		■課外活動の種類 各種ボランティア ■サークル活動: 無																						
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和元年度卒業生) ベルマリエキ登勢、樹友美、樹美美コーポレーション		主な学修成果(資格・検定等)※3		■国家資格・検定/その他(民間検定等) (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)																						
	■就職指導内容 卒業生を招いての就職ガイダンスの実施、キャリアカウンセリングの実施、リクルートスーツの貸出、等				<table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3級ブライダルコーディネート技能検定</td> <td>③</td> <td>3人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>WBJ「認定ドレスコーディネーター」</td> <td>③</td> <td>3人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>フォーマルスベジャリスト検定(準2級)</td> <td>③</td> <td>3人</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>パーソナルカラーリスト検定(2級)</td> <td>③</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td>サービス介助士</td> <td>②</td> <td>2人</td> <td>2人</td> </tr> </tbody> </table>		資格・検定名	種	受験者数	合格者数	3級ブライダルコーディネート技能検定	③	3人	2人	WBJ「認定ドレスコーディネーター」	③	3人	2人	フォーマルスベジャリスト検定(準2級)	③	3人	3人	パーソナルカラーリスト検定(2級)	③	2人	2人	サービス介助士
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																								
3級ブライダルコーディネート技能検定	③	3人	2人																								
WBJ「認定ドレスコーディネーター」	③	3人	2人																								
フォーマルスベジャリスト検定(準2級)	③	3人	3人																								
パーソナルカラーリスト検定(2級)	③	2人	2人																								
サービス介助士	②	2人	2人																								
■卒業業者数: 3人		■就職希望者数: 3人		■就職者数: 3人		■就職率: 100%																					
■卒業業者に占める就職者の割合: 100%		■その他		※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等)		■自由記述欄																					
(令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報)		■中途退学者: 0名		■中退率: 0%		最新公表年月日(※1) 最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください																					
中途退学の現状	■中途退学の主な理由		■中退防止・中退者支援のための取組		早期面談、保護者連絡・面談、学費分割相談、キャリアカウンセラーによるカウンセリング、休学の実施、等																						
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: (有)無		■専門実践教育訓練給付: 給付対象(非給付対象)		野口一郎奨学金制度、2年次特待生制度、東日本大震災における被災学生支援制度、等																						
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: (有)無																										
当該学科のホームページURL	https://www.mbc.ac.jp/bridal/																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者を含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業業者に占める就職者の割合」とは、全卒業業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賞金、報酬その他定期的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等と組織的な連携体制を確保し、職業教育を通じて業界に必要とされる職業人育成を目指し学科の教育課程を作成する。
新しく身につけるべき知識やスキルを実務に携わる企業の方の意見を科目設定だけでなく、可能な限り既設授業の單元にも取り込みを行う。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

編成委員は学校法人東杜学園教職員と企業関係者等の外部委員から構成され、相互意見を十分に活かし、より良い教育課程の編成を協力して行うものと位置付けている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
高木 友子	公益財団法人 日本ケアフィット共育機構	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	①
大久保 毅彦	株式会社JTB	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	③
齋藤 康紀	仙台ターミナルビル株式会社 ホテルメトロポリタン仙台	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	③
小笠原 均	有限会社花嫁の千登勢 ベルマリエ千登勢	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	③
本村 陽	株式会社日比谷花壇	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	③
小山 大輔	株式会社留学ジャーナル	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	③
野口 和江	国際マルチビジネス専門学校 校長	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	
熊谷 文志	国際マルチビジネス専門学校 事務局	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	
吾妻 祐子	国際マルチビジネス専門学校 事務局	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	
伊五澤 和男	国際マルチビジネス専門学校 事務局	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	
三橋 英一	国際マルチビジネス専門学校 事務局	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	
島村 香奈子	国際マルチビジネス専門学校 事務局	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、10月)

(開催日時(実績))

第1回 令和1年9月3日 14:20～15:10

第2回 令和1年9月20日 13:00～14:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- ・保護者世代への接し方等を学ぶ「社会人マナー」を引き続き全学科全専攻へ導入
- ・外部コンテストへの参加

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

業界において必要な知識や技術を養うことはもちろんのこと、ゲストの要求に応えられるよう、演習形式で授業を行う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

企業より講師の派遣を行い、業界ニーズを反映した授業を行った上で評価を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
特別講座 (ブライダルフラワー アレンジメント)	ブーケやブートニア、卓上装花などブライダルシーンを彩る装花のコーディネートを中心に習得する。	株式会社マルイ商事
ネイルサービス	日常的なネイルケアマッサージの方法、基本的なネイルサービスの技術を実習を通して習得する。	Nail&school salon de lilas
特別講座 (ブライダルフラワー アレンジメント)	ブーケやブートニア、卓上装花などブライダルシーンを彩る装花のコーディネートを中心に習得する。	株式会社日比谷花壇
特別講座 (メイク)	2019秋冬ファッションメイクアップのトレンドの実践と解説を行い、その技術を習得する。	株式会社UTOWA

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

研修規程を基に、卒業後就業を目標とする業界が求めるスキルや最新の動向等の知識を得て学生の指導へ活かしていくことを目指す。また、研修を受講することで実践的な技術や技能の向上に努めている。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「インドネシア・バリ島研修旅行」(連携企業等: グランドミラージュリゾート&タラソバリ)
期間: 令和1年10月27日(日)～11月1日(金) 対象: 教員2名
内容: インドネシア・バリ島の観光資源・著名ホテル等を視察

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「プランナー1dayセミナー」(連携企業等: 株式会社ブライダル産業新聞社)
期間: 令和1年6月11日(火) 対象: 教員1名
内容: 「心の奥の思いを汲み取る打ち合分け術」等のセミナーを受講

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「SONPOリスクマネジメント」(連携企業等: 外務省教育機関向け海外安全対策セミナー)
期間: 令和3年3月上旬 対象: 教員1名
内容: 海外研修・留学の際の学校側の危機管理について事例を通して研修予定

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「H検直前対策セミナー」(連携企業等: 一般社団法人日本ホテル教育センター)
期間: 令和2年11月上旬 対象: 教員2名
内容: ホテル実務検定ベーシックレベル受験用対策セミナーを受講予定

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価の基本は自己評価である。学校自らが行った自己評価が学校に関係する人々から見ても理解頂ける様、評価の客観性を高めたい。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目的・人材育成等
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受入れ募集	学生の募集と受け入れ
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献
(11) 国際交流	留学生の募集と受け入れ

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

今年度も委員会から忌憚のない意見を頂戴した。
 ・情報システム化等による業務の効率化を図る点について、情報管理のシステム化を進めると共に、蓄積された情報分析のシステム化のさらなる強化の必要性についてご意見を頂戴した。
 ・様々な学生のニーズに対応すべく新設開講した国際ホテル学科夜間部についての評価を頂戴した。
 ・卒業生に対する情報発信制度等の構築や、卒業生採用企業へのアンケート等での状況確認の実施等のご意見も頂戴し、卒業生の社会的な活躍及び評価の把握や支援体制については、今後、より積極的に取り組むべき点と認識した。
 ・以前より議題として挙がっている『人間力の向上』については、認定5学科全てにおいて、立案から実施までの工程を学生が担当する実習制度を導入している。社会人として必要とされる「課題発見能力」及び「課題解決能力」の育成を主眼とするのみならず、課題遂行上不可欠となる「コミュニケーション能力」の向上など、「社会性」を学修する場ともなっている。
 ・「留学生の学修意欲の向上」や「留学生の募集」については、今年度より対応教員を増員し細やかな在籍管理を徹底しているが、モチベーションアップに向けた評価の可視化についてはより検討するべき課題として挙げられた。徹底した指導の成果として昨年度就職内定率は100%という結果を残したことについては一定の評価を得た。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年4月1日現在

名前	所属	任期	種別
高木 友子	公益財団法人日本ケアフィット共育機構	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
大久保 毅彦	株式会社JTB	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
齋藤 康紀	仙台ターミナルビル株式会社 ホテルメトロポリタン仙台	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
小笠原 均	有限会社花嫁の千登勢 ベルマリエ千登勢	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
本村 陽	株式会社日比谷花壇	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員
小山 大輔	株式会社留学ジャーナル	令和1年4月1日～令和3年3月31日(2年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.mbc.ac.jp/publication/>

公表時期: 令和2年10月2日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校教育法第133条、第134条第2項において準用する第42条及び同法施行規則第189条、第190条において準用する66、68条により、学校の自己評価の実施および公表が義務付けられた。本校では平成27年度より学校関係者評価編成委員会を立ち上げ、また自己評価を基本とし、学校関係者評価委員会により、外部委員を通じてより社会に貢献できる、また教育水準の向上に努める。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	教育理念・目標
(2)各学科等の教育	学校運営
(3)教職員	学校運営
(4)キャリア教育・実践的職業教育	学修成果
(5)様々な教育活動・教育環境	教育活動・教育環境
(6)学生の生活支援	学生支援
(7)学生納付金・修学支援	学生の受け入れ募集
(8)学校の財務	財務
(9)学校評価	自己評価・学校関係者評価
(10)国際連携の状況	留学生の受け入れ募集
(11)その他	社会貢献・地域貢献・法令の順守等

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL:<https://www.mbc.ac.jp>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ブライダルビジネス学科ブライダルスタイリスト専攻)																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○			ブライダル概論	婚礼の流れ、形式、挙式、披露宴などについて総合的に学ぶと共に、ブライダルサービス全般について習得する。	1通	95.2	16	○	△		○		○		
	○			パーソナルカラー	色彩の基礎知識を踏まえ色の持つ心理的作用を学び、お客様に合ったコーディネート習得する。	1,2通	95.2	16	○	△		○				○
	○			フォーマルスペシャリスト検定対策	新郎・新婦を含めたフォーマルの正しい知識と、一般的なルールやマナーを基礎から習得する。	1通	47.6	8	○			○				○
	○			認定ドレスコーディネーター検定対策	ウェディングスビューティフルジャパン主催の検定試験対策を実施する。	2通	47.6	8	△	○		○				○
	○			メイク	基礎技術を中心に実習を重ね、詳しく学ぶ。	1,2通	190.4	32			○	○				○
	○			ブライダルコーディネート技能検定対策	公益財団法人日本ブライダル文化振興協会(BIA)主催の検定試験対策を実施する。	2通	71.4	12			○	○				○
	○			ブライダルプロデュース(初級)	スタンダードな披露宴の流れを習得する。	1前	23.8	4			○	○				○
	○			ブライダルプロデュース(中級)	オリジナルの演出を盛り込んだ挙式披露宴をプロデュースする。	1後	23.8	4			○	○				○
	○			ブライダルプロデュース(上級)	結婚式プロデュースの集大成として、ブライダルフェスタの企画・立案を実施する。	2通	95.2	16			○	○				○
	○			ホテルビジネス実務検定対策	ホテルビジネス実務検定ベーシック2級を1年次、1級を2年次に取得するための対策講座。	2通	47.6	8	○	△		○				○
	○			ホテル総論	ホテルの歴史・経営形態など全般に関する知識を学び、ホテルにおける婚礼の役割を理解する。	1通	47.6	8	○			○				○
	○			ブライダルサービス	式当日に新郎新婦のお世話をするキャプテン・アシスタント業務とアテンド業務を習得する。	1通	47.6	8			○	○	○			○

13	○	ネイルサービス	日常的なネイルケアマッサージの方法、基本的なネイルサービスの技術を実習を通して習得する。	1 2 通通	190.4	32				○	○								○
14	○	トータルビューティー	メイク・ヘアスタイリング・ネイル・衣裳・写真を総合的にプロデュースするスキルを磨く。	1 2 通通	190.4	32				○	○								○
15	○	着付	基本的な着付や帯結びからアレンジ方法などを習得する。	1 通	47.6	8				○	○								○
16	○	ブライダルジュエリー	婚約指輪や結婚指輪など、意味合い、種類、使用する宝石の特性や取扱方法を習得する。	1 通	48	8	○				○								○
17	○	パソコン実習	パソコンの使い方、word・excelの使い方等、文書作成や操作方法から応用まで実践で習得する。	1 2 通通	95.2	16	△			○	○								○
18	○	就職ガイド	履歴書の書き方、自己PR、筆記試験対策、会社訪問の仕方、面接など就職活動全般について習得する。	1 2 通通	95.2	16	○	△			○								○
19	○	総合英語	聞く、話すを中心とした会話を習得する。	1 2 通通	95.2	16	○				○								○
20	○	社会人マナー	社会人としての立ち居振る舞いについて実践形式で習得する。	1 通	47.6	8	○	△			○								○
21	○	ボールペン習字	心のこもった美しい文字を書ける様指導する。	1 通	47.6	8	△			○	○								○
22	○	秘書技能検定対策	秘書技能検定対策として、職場における言葉遣い、敬語、電話対応、ビジネス文書作成などの実務を習得する。	1 2 通通	95.2	16	○	△			○								○
23	○	就職筆記対策	就職試験における、適性診断や一般常識問題などでの対策を実施する。	2 前	23.8	4			○		○								○
24	○	ホスピタリティ・コミュニケーション	心理学的コミュニケーション論を学び、接客業に不可欠なホスピタリティ精神の向上を目指す。	1 2 後前	47.6	8	○	△			○								○
25	○	オーラルイングリッシュ	ネイティブスピーカーによる少人数制の英会話で、レベルに合わせた授業を実施する。	1 2 通通	95.2	16	○	△			○								○
26	○	学科別海外研修旅行	海外チャペルを視察し、現地のコーディネーターから海外ウェディングの傾向や挙式までの流れについて学ぶ。	1 後	105	5	△			○		○	○						○
27	○	スポーツ大会	学生間のコミュニケーションをはかり、クラスの団結力を高めることを目的とする。	1 2 前前	16.8	2				○		○	○						○

28	○		アウトドア研修	校外にて東北の良さを再確認できるイベント・研修を実施する。	1 2 後後	16.8	2			○		○	○			
29	○		ボランティア清掃	学校、仙台駅周辺の清掃をする事によりボランティア精神を養い、モラルの在り方を再確認する。	1 2 後後	2.8	2			○		○	○			
30	○		就職ガイダンス	各業界の人事担当者や本校OG・OBを迎え、就職活動の貴重な体験談、アドバイスを頂く。	1 2 後前	9.8	2	○				○		○		
31	○		学科別研修 (ブライダルフェスタ)	挙式・披露宴の企画、進行、ヘアメイク、装花、照明、音響、衣裳まで全て学生が担当するイベント。	2 後	35	4			○		○	○			
32	○		特別講座(メイク特別講座)	外部講師を招き、メイク技術を向上させる為の講座を実施する。	1 2 前前	5.6	2			○		○				○
33	○		特別講座 (トータルビューティー特別講座)	花嫁の和装のお支度を見学し、初歩的な写真撮影の手法について理解する。	1 2 前前	11.2	2	△	○			○				○
34	○		特別講座(ネイリスト検定対策特別講座)	ネイリスト技能検定取得に向けた、対策講座を実施する。	1 2 通通	25	4			○		○				○
35	○		特別講座(ブライダルフラワーアレンジメント)	ブーケやブートニア、卓上装花などブライダルシーンを彩る装花のコーディネートを中心に習得する。	2 通	22.4	3			○		○				○ ○
合計						35	科目	2249.8単位時間(356単位)								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：卒業認定単位数を修得し、1年毎に総時間数の80%を履修		1学年の学期区分	2期
単位取得：学期毎に出席率80%以上且つ各期末試験で合格(60点以上)と認定された場合		1学期の授業期間	17週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。